



操作体験
機敏な動きをする徳山高専製の競技用ロボット。操作体験コーナーは子どもたちを夢中にした



作業に集中

徳山高専生⑩に教わりながらロボットの基板作り。細かい作業に集中する

育て未来の

ロボット博士

子どもたちに工作の楽しさを伝える「ワイワイものづくり輝きフェスタ」(周南市、ひと・輝きプロジェクト運営実行委主催)

特集

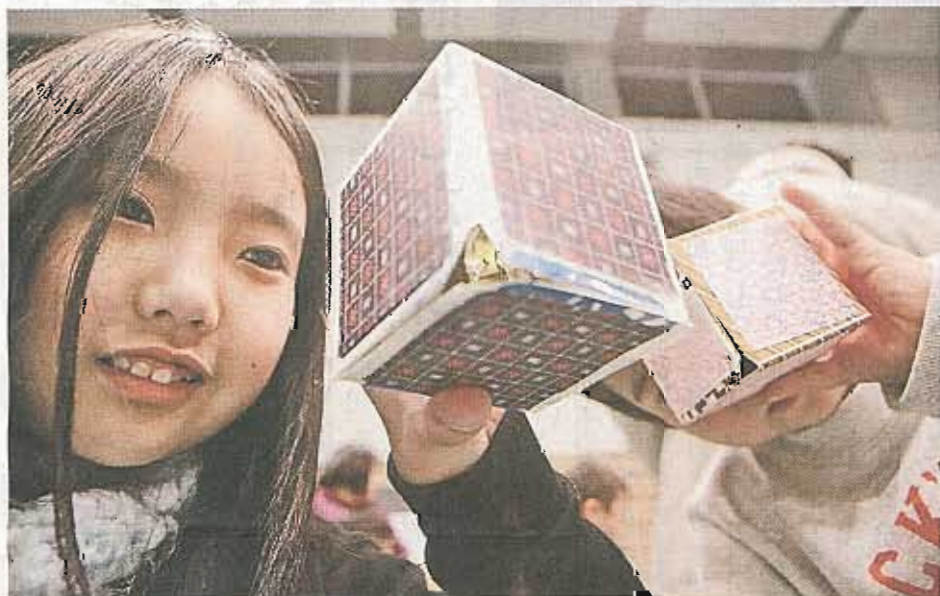
催すが、同市毛利町の県周南総合庁舎さくらホールであった。小学生約二百五十人が参加し、ロボットや万華鏡作りなどに挑戦した。赤外線を利用し、テレビのり

ものづくり輝きフェスタ 周南

モコンで操る無線簡易ロボットの工作教室が大人気。子どもたちは、考案した徳山工業高等専門学校メカトロシステム部の学生に手伝ってもらいながら、はんだごてで基板の配線をつなぐなどした。

競技ロボットの操作体験コーナーや、稲わらを使った写真ボード、牛乳パックなどを再利用した万華鏡の工作教室もあり、会場には終始、子どもたちの弾む声が響いた。

同市の菊川小五年、中村駿君(10)は「工作は達成感がたまらない。将来はロボット博士になりたい」と目を輝かせていた。(写真・宮原滋、文・鴻池尚)



エコな輝き

牛乳パックを再利用して作った万華鏡。「エコな輝き」に満足そう



昔ながらの技
昔ながらの技法を伝える

稲わらを使ってボード作り。鹿野高齢者生産活動センターの主婦(左端)